

# 図書館リニューアルについて

## — 利用しやすい図書館をめざして —

中央図書館では平成 10 年度より、利用者の皆さんがより使いやすくなるように施設や設備面の拡張・改良、また利用面の充実を考え改装計画を進めてきました。そのひとつとして自由閲覧室の開設があります。今号では利用者の声を交えながら、自由閲覧室についてとりあげることにしました。

### 「自由閲覧室の開設について」

事務部長 當仲將宏

#### 1. 設置の背景

本学中央図書館は、昭和 45 年に建築した 3～4 階、6 階とに区別された閲覧室と 5～8 階までの積層書庫からなる多層図書館でしたが、平成 9 年に改装整備を行った際、それまで 4 階から 5 階への内階段がなかったのを新たに階段を作って 5 階部分に閲覧室を増設しました。そのとき 6 階部分はそのまま、雑誌業務を行う雑誌課として残り、3 階から 5 階までの図書部門の閲覧室と分離された状況が残されました。

その後、いろいろと検討する中で、雑誌部門と図書部門の一元的な運用を促進する上で雑誌架を 4 階に下ろし、雑誌閲覧課と図書閲覧課を統合することにしました。あわせて従来の 6 階閲覧室をどう利用するかについて検討した結果、建物の構造上 6 階が、3 階から 5 階までと入り口が別で独立した状況であることから 6 階部分に職員を配置しない、またとりあえず図書館所蔵図書を配架しない閲覧室として利用してはどうかと考えました。

館内には図書のない閲覧室は、大学の設置基準上、図書館閲覧室と認められないのではないかとの意見もありましたが、一方では、大学設置基準の大綱化の流れと大学関係者から教育改革のうち教育サービスのひとつとして「自習室など遅くまで大学で研究・学習できる施設」のサービスが云われていることに着眼し、図書館の中でそのようなサービスが提供できればと、名称も敢えて「自由閲覧室」と名付けて開設することにしました。



#### 2. 自学自習の場

自由という名称を付けたのは、利用者の自己責任において、いつでも自由に、自学自習の場として利用できるようにしたいとの思いからでした。ことに閲覧とか、日曜に長時間利用する場合が多いことを考慮して、室内での飲み物や食事時の軽食は他人の迷惑にならない範囲でこれを認めることにしました。自学自習の場としての勉学の環境を利用者自らの責任において作って頂こうと思い、他人に迷惑をかけないように充分な自覚と利用マナーを守ることを強く求めています。従って職員を配置しないで、ときどきの見回り程度にし、センサー・カウンターによる入館数調査とモニターテレビによる、室内の状況把握に留めました。自学自習といっても、学生は所定の 3 階から入館して必要な図書の貸出を受けて、そのあと 6 階の自由閲覧室でまた閲覧を続ける場合も多くあります。

#### 3. 年中無休・9 時半閉館、利用数など

この自由閲覧室は、原則として年末年始の 10 日間とお盆の 7 日間を除き、毎日午前 8 時半から午後 9 時半まで利用できます。これも 6 階が 3 階などと独立しているという建物

上の問題点を逆に生かしたからこそ、独自に年中無休で、しかも夜遅くまで利用できることが可能になりました。

一日の利用状況は、普段の日で約 200 人程度、日曜で 150 人程度、試験期は 500 人程度。一日のうち午後 4 時から 5 時までが最も多く、その時点での着席者数は普段の日では約 60 人程度ですが、試験期の日曜では 120 人程度となります。特に試験期の日曜開館時には本館（3 階～5 階）の閉館後に 6 階へ移動してくる者が多く、6 階はほぼ満席になります。

6 階の自由閲覧室の収容座席数は 190 名ですが、身の回りの持ち物があるため、120 名が限度です。それ以上になるときは 5 階の閲覧室を開放しています。開設当初は、職員を配置しなければという心配をしましたが、平常では 3～5 階の閲覧室よりも静粛さが保たれています。ただ試験期になると、平常は 6 階の閲覧室にこない学生が試験前にだけグループで利用することもあって、静かな環境を害する状況が見受けられますが、このときはモニターをみて、館員が注意に出向いています。

#### 4. 学外者の利用

この自由閲覧室は原則的には、本学在學生が利用するものですが、普段の日でも通信教育の学生や卒業生も入室しています。

入室の際はノーチェックで自由に入出できますので、一般社会人や大学受験をめざす人の利用もかなりありますが、特別に注意することなく利用を認めています。これを広く PR しますと収容定員を超えてしまうので、人伝てに來られた方のみ自由に利用を認めています。図書館の一般社会に向けたサービスとして、また生涯学習のための支援サービスの一助となればと考えています。

#### 5. これからの取り組み

利用者の意見の中には、9 時半閉館をもっと遅くまで、できれば 12 時までとか、24 時間開館にしてほしいとの要望がありますが、今後の検討課題にしたいと思っています。

今秋から、非管理図書である個人研究費の返却本や寄贈図書で適当な図書を選んで配架し、学生その他社会人に気軽に利用していただくようにしています。

わが図書館は、現在大学らしい図書館と利用しやすい図書館づくりを目指し、それには旧来の図書館運営を発想の転換によって取り組んでおりますが、この自由閲覧室の開設はその一つの現れであります。これが成功するかどうかはやってみないと分かりませんが、今後とも試行的に取り組んでいきたいと考えています。

### 自由閲覧室の利用状況

#### （調査方法）

平成 11 年 7 月 2 日から 6 日まで、6 階入口ゲートにアンケート用紙をおき、退出時回収箱で回収した。集計結果は次の通り。

#### アンケート回収の内訳

	平日	日曜	計
一 部 学 生	70	40	110
二 部 学 生	7	6	13
大 学 院 生	2	1	3
通信教育部生	5	5	10
卒 業 生	8	6	14
そ の 他	8	7	15
計	100	65	165
（男）	(66)	(45)	(111)
（女）	(34)	(20)	(54)

#### ● 1 週間のうち何日利用しますか。（平日来室者のみ回答）

	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日
一 部 学 生	10	8	16	14	6	10
二 部 学 生	1		3		2	1
大 学 院 生					1	1
通信教育部生	3	1		1		
卒 業 生	2	1	1	2		2
そ の 他	1		1	1	3	2
計	17	10	21	18	12	16

\* 無回答 6

● 1ヶ月のうち日曜日に何回利用しますか。

(日曜来室者のみ回答)

	1回	2回	3回	4回
一部学生	11	11	9	9
二部学生	3			3
大学院生				1
通信教育部生		2	1	2
卒業生	1	1	1	3
その他		3	2	2
計	15	17	13	20

● 入館した時は何時間利用しますか。

	～1時間		1～2時間		2～3時間		3～4時間		4～時間	
	平日	日曜	平日	日曜	平日	日曜	平日	日曜	平日	日曜
一部学生	2		14		17	9	9	1	24	23
二部学生					3	1	2	1	2	4
大学院生									2	1
通信教育部生			1		1		1	2	1	2
卒業生							3	1	5	4
その他					2	1	1	1	5	5
計	2		15		23	11	16	6	39	39

\* 無回答 14

● 自由閲覧室を利用する理由は何か。

1位	学習しやすい雰囲気がある	47人
2位	静かである	24人
3位	資格試験などの勉強ができる	21人
4位	長時間利用できる	20人
5位	飲み物、飲食ができる	15人
6位	学習に集中できる	14人
7位	他人の学習に刺激を受ける	9人
7位	空調がある	9人
9位	授業のあき時間がある	8人
10位	自宅に近いから	7人
10位	机が広く使えるから	7人

(不満な点は何か。)

時々私語が気になる	9人
混んでくると雑談が多い	8人
携帯電話の音が気になる	5人
計算機の音が気になる	2人

## お知らせ

このたび、6階自由閲覧室に図書を配架いたしました。  
先生の個人研究費購入図書で退職時に返還されたもののうち、主に事典、辞書、ハンドブック、年鑑などの参考図書、自然科学系や法学系の図書など学生用に利用できる図書を配架しておりますのでご活用ください。

